

本統計集は、社会調査家・石田忠が、この間、精魂を傾けて取り組んできた、《被爆者における原爆体験の思想化の営為に関する統計分析》の成果について——そこに到達するまでのプロセスをも含めて——集大成したものである。

《原爆体験は、被爆者の思想的営為を活性化し、それに方向を与える働きをするのではないか。》——石田忠は、この基本仮説、すなわち〈被爆者の思想形成過程〉に認められる〈人間的な必然性〉を検証するべく、方法をつぎのように定めた。

《原爆体験の重さと深さのちがいによる被爆者の層化を行う。層別に見る思想化の営為に規則的なちがいが見られるならば、原爆体験によって思想化の方向が規定されると言うことができる。》

では、〈原爆体験の重さと深さ〉は、何によって測ることができるのか。そして、〈思想化の営為〉やその〈方向〉は、どのようにして測ることができるのか。

「総括表」は、このことを探究し確定していった社会調査家・石田忠の到達点であり、同時にまた、その後の分析作業を導いた枠組みでもあった。

上記のような課題について統計的な実証を試みることのできる調査データは、被爆40年（1985年）に、日本原水爆被害者団体協議会が実施した『原爆被害者調査』を措いてほかにない。上記の目的を達成するため、石田忠は、回収された有効調査票（1万3168人）のうち、〈原爆体験の思想化の営為〉に関わる調査項目のすべてに有効な回答が得られた調査票（6744人）を選定し、詳細な集計分析を行っている。

本書に収録されているのは、はじめから最後まで、統計表である。石田忠は、「後世に残るのは、記述ではなく、統計表である」と言い切る。ここには、〈原爆体験〉と対峙してきた被爆者たちの営みと、その人間的意味を跡づけようと格闘し続けた一人の社会調査家の軌跡が刻まれている。

それらをどう読むか、ここから何を読みとるか。それは、読者に委ねられている。

一橋大学〈原爆と人間〉研究会は、『原爆被害者調査』が実施されていらい今日まで、スタッフ（石田忠・奥田妙子・沼崎保宏・栗原淑江・有富由紀・濱谷正晴）の手で、その膨大な調査データを整理・資料化し、分析する作業を営々と続けてきた。およそ20年になんなんとする今、本統計集を世に送る。

再びと被爆者をつくらないために。

そして、人間社会から戦争をなくすために。

2004年9月

一橋大学〈原爆と人間〉研究会を代表して
社会調査室 濱谷 正晴

表形式（統一フォーマット）

[表番号] 1～13の各ファイル（総目次参照）ごとに、連番で表番号を付す。表1-1、表5-12など。
表が複数ページにまたがる場合、表番号は同一で表題に「（つづき）」と表示。

[表題] 末尾記号のうち、aは横計、bは縦計を示す。

[対象者数] 6744人全体の場合、表示しない。
対象者がその一部に限定される場合、範囲と対象者数を「****の者（名）」と記す。

[数値] 実数（%）の順である。

[合計欄] 合計数を以下のように区別する。

計：総和

小計：総和の細分

回答者数：複数選択問の回答者実数

総数：イ．ある問の一部の項目のみ使用した場合の、分母の数

例) 表6-13 被害層別、類型別、死者の慰霊あり回答者数 a

ロ．各指標選択の型（○×）の該当者数

例) 表1-4 「被害層」別関連質問の無回答者数 1 b

[注] 同一内容の場合、各ファイルでの初出時にのみ注を付した。

記号・用語の解説

1. 被害層0～Ⅶについて

- 1・2 【問6〔4〕】「あなたは、これまで、発病したり、被爆者で死んだひとたちのことを見たり聞いたりしたとき、死の恐怖を感じたことがありますか。」

【補問】「それを感じたのは、どんなときですか。」

この問いに対する答えのなかに、選択肢「ハ、被爆当時の、ひとびとの死のありさまを思いだしたとき」を含めているもの（以下「当時の死」と表記）を 1.

同じく「ホ、新聞やテレビなどで、原爆や核兵器のことを見聞きしたとき」を含めているもの（以下「核の報道」と表記）を 2.

- 3・4 【問17】「あなたは、いま、被爆者であるために不安なことがありますか。」

この問いに対して、選択肢「1. 大いに不安がある」（以下「不安大」と表記）と答えたものは 3.

同じく「すこし不安がある」（以下「不安小」と表記）は 4.

- 5・6・7・8 【問18】「あなたにとって、被爆したために、つらかったことはどんなことですか。」

この問いに対する答えのなかに、選択肢「5. 病気がちになったこと」（以下「病気がちに」と表記）を含めているものを 5.

同じく「8. 自分の健康にいつも不安をいだくようになったこと」（以下「健康いつも不安」と表記）を含めているものを 6.

同じく「15. 子供をうむことや、うまれた子供の健康・将来のことに不安をいだいてきたこと」（以下「出産／子供に不安」と表記）を含めているものを 7.

同じく「17. あの日のできごとが、深く、こころの傷あとになって残ったこと」（以下「あの日が心の傷に」と表記）を含めているものを 8.

以上、1から8までの原爆被害のいずれをもうけていないものを0の層とし、一つうけているものをIとして、順次Ⅶにいたる（被害3と4は、そのいずれか一つの選択である）。

2. 「生きる意欲」喪失体験について

【問19】「あなたは、被爆したために、『こんな苦しみを受けるくらいなら、死んだ方がましだ』とか、『いつそあの時、死んでいた方がよかった』とか、思ったことがありますか。」

この問いに対して、

1. かつて、そう思ったことがあった
2. かつても、いまも、そう思うことがある
3. かつては思わなかったが、いまそう思っている

と答えている人は「生きる意欲」の喪失体験をもっている人とする。

4. そういうことは、考えたことがない

と答えている人は「生きる意欲」の喪失体験をもっていない人とする。

単に、「喪失体験のあるもの」「ないもの」と表示する場合もある。

3. H、NHならびにR、NRについて

原爆体験の思想化の型を示すための記号である。

H、NH 「あの日の証言」のなかで「人間」というコトバを明記しているものを H.

しからざるものを NH.

R、NR 【問27】「国に、原爆被害者援護法を制定させるとして、あなたは援護法に、どのようなことをもとめていますか。」

この問いに対する答えのなかに、選択肢「8. 被爆者援護法の制定によって、国の責任を明確に」を含めているもの（以下「国の責

任を問う」と表記)を R.

含めていないもの(以下「国の責任を問わない」と表記)をNR.

したがって、思想化の型によって、回答者を次のごとく分類することができる。

NH・NR(=NR・NH) : 証言に「人間」というコトバもなく、
「国の責任」を問うこともしていない人

H・NR(=NR・H) : 証言に「人間」というコトバがあるが、
「国の責任」を問うことはしていない人

NH・R(=R・NH) : 証言に「人間」というコトバはないが、
「国の責任」を問うている人

H・R(=R・H) : 証言に「人間」というコトバを明記している
し、「国の責任」を問うこともしている人

4. 類型A～Fについて

【問20】「いま、あなたの生きる支えや、はりあいになっているのは、どんなことですか。つぎのなかから、あなたにあてはまるものを、あげてください。(2つ以上に○をつけてもかまいません。)」

与えられた選択肢は次のようであった。

1. 安定した生活をきずくこと
2. 家族に囲まれてくらすこと
3. 仕事に生きること
4. 趣味に生きること
5. 宗教に生きること
6. 多くのひととふれあうこと
7. 地域や社会のために役にたつこと
8. 原爆で死んだ人たちの霊をなぐさめること
9. 原爆にまけないようにすること
10. 被爆の証人として語りつぐこと

11. 被爆者の仲間のために役にたつこと
12. 援護法制定の日まで生きぬくこと
13. 核兵器をこの地球からなくすために生きること
14. とくにない
15. その他

<生きる支え>選択の態様によって、回答者を次のごとく分類した。

類型A : <生きる支え>のなかに次の三つのすべてを含めている者

「10. 被爆の証人として語りつぐこと」(「証人」)

「12. 援護法制定の日まで生きぬくこと」(「援護法」)

「13. 核兵器をこの地球からなくすために生きること」(「核廃絶」)

類型B : 上の三つのすべてではないが、そのいずれかを<生きる支え>のなかに含めている者

類型C : 上の三つのいずれをも<生きる支え>のなかに含めてはいないが、次の三つのすべて、またはいずれかを、含めている者

「8. 原爆で死んだ人たちの霊をなぐさめること」

「9. 原爆にまけないようにすること」

「11. 被爆者の仲間のために役にたつこと」

類型D : 以上のいずれをも<生きる支え>のなかには含めていない者のうち、次の選択肢を含めている者

「7. 地域や社会のために役にたつこと」

類型E : 以上のいずれをも<生きる支え>のなかに含めず、次の項目のみを選択した者

「1. 安定した生活をきずくこと」

「2. 家族に囲まれてくらすこと」

「3. 仕事に生きること」

「4. 趣味に生きること」

「5. 宗教に生きること」

「6. 多くのひととふれあうこと」

類型F : 以上13個の選択肢のいずれをもあげることなく、<生きる支え>など「14. とくにない」と答えているもの

5. 「あの日」の体験（心の傷）について

【問18】「あなたにとって、被爆したために、つらかったことはどんなことですか。」

17. あの日のできごとが、深く、こころの傷あとになって残ったこと

【問19】「あなたは、被爆したために、『こんな苦しみをうけるくらいなら死んだ方がましだ』とか、『いっその時、死んでいた方がよかった』とか、思ったことがありますか。」

【補問A】「そう思った（思う）のは、なぜですか。」

チ. あの日の体験に、こころをさいなまれて

【問6〔4〕】「あなたは、これまで、発病したり、被爆者で死んだひとたちのことを見たり聞いたりしたとき、死の恐怖を感じたことがありますか。」

【補問】「それを感じたのは、どんなときですか。」

ハ. 被爆当時の、ひとびとの死のありさまを思いだしたとき

ホ. 新聞やテレビなどで、原爆や核兵器のことを見聞きしたとき（核報道*）

*核報道

昭和20年－25年の間は、毎晩のごとく、死んでいる姿や死んでいった人びとの死にかたを夢に見てうなされ、妻が驚いて起こしてくれた。死体の処理10日間、看護2日間のことが強く脳裏に残っていた。40年たった今日でも原爆の新聞記事、本、テレビを見たり、日記を見ると必ず、夢に見てうなさらされている。（36-0041）

統計集の略語表記について

*表の作成にあたり、下記の設問における選択肢は簡略化して表記した。

(調査票原文)	(略 語)		
【問6〔4〕補問】	「死の恐怖を感じる時」	【問9補問】	「就職仕事のなやみ」
イ. 病気したり、からだのぐあいが悪くなったとき	「体のぐあいが悪化」	イ. 病気や障害のために、のぞんだ仕事につけなかった	「病で望む職につけず」
ロ. 身内や、まわりの被爆者の死（死にかた）を見聞きしたとき	「被爆者の死を見聞」	ロ. 就職のとき、採用してもらえなかったりなど、差別をうけた	「就職のとき差別」
ハ. 被爆当時の、ひとびとの死のありさまを思いだしたとき	「当時の死思い出し」 「当時の死」	ハ. 被爆したことをかくして就職した	「被爆を隠して就職」
ニ. 被爆後にうまれた、こどものからだのことが気になったとき	「子供の体気になり」	ニ. からだが悪く、仕事につけなかった	「体わるく仕事なし」
ホ. 新聞やテレビなどで、原爆や核兵器のことを見聞きしたとき	「核の報道を見聞」 「核の報道」	ホ. 就職はしたが、人なみに仕事ができなかった	「人並みに働けず」
ヘ. その他	「その他」	ヘ. 職を転々としたり、安定した職につけなかった	「安定した職につけず」
		ト. むりして働いたため、からだをいっそう悪くした	「むりして体調悪化」
【問7補問B】	「生活苦の原因」	チ. まったく働けなくなり、仕事をやめた	「全く働けず退職」
イ. 原爆で、家族をうしなったため	「家族を失った」	リ. その他	「その他」
ロ. 原爆で、家やたくわえをうしなったため	「家財を失った」		
ハ. 原爆で、職場をうしなったため	「職場を失った」	【問17補問】	「不安の内容」
ニ. あなたが病気して、収入が減ったり、なくなったりしたため	「病気で収入失う」	イ. いつ発病するかわからないので、不安だ	「いつ発病するか」
ホ. 被爆した家族が病気（病死）して、収入が減ったり、なくなったりしたため	「家族病で収入失う」	ロ. ぐあいが悪くなると、被爆のせいでは……、と気になる	「被爆のせいでは」
ヘ. あなたまたは被爆した家族が病気し、その医療費がかさんだため	「医療費がかさんだ」	ハ. 一生なおらないのでは、と不安になる	「一生なおらない」
ト. 被爆者であるがゆえに、安定した仕事につけなかったため	「安定した職につけず」	ニ. もし働けなくなったら……、と不安になる	「働けなくなる」
チ. 被爆が原因になって、家族が離別したため	「家族が離別した」	ホ. 老後の生活が不安だ	「老後の生活」
リ. その他	「その他」	ヘ. 自分が死んだら……と、のこる家族のことが心配だ	「自分の死後の家族」

ト. 被爆した肉親の、健康や将来のことが不安だ	「肉親の健康や将来」	15. 子供をうむことや、うまれた子供の健康・将来のことに不安をいだいてきたこと	「出産／子供に不安」
チ. 戦後うまれの（胎内被爆をのぞく）子供や孫の健康が不安だ	「子や孫の健康」	16. 被爆したことをかくして生きてきたこと	「被爆隠して生きた」
リ. 戦後うまれの（胎内被爆をのぞく）子供や孫の将来のことが不安だ	「子や孫の将来」	17. あの日のできごとが、深く、こころの傷あとになって残ったこと	「あの日が心の傷に」
ヌ. その他	「その他」	18. 被爆したために、とくにつらいことはなかった	「とくになかった」
		19. その他	「その他」

【問18】

1. 家族をうしなったこと	「家族を失った」
2. 家やたくわえなど、生活の基盤をうしなったこと	「家財を失った」
3. 家族がちりぢりになってしまったこと	「家族がちりぢり」
4. 支えになる人や相談する人がいなくなったこと	「支える人を失った」
5. 病気がちになったこと	「病気がちに」
6. ケロイドを負わされたこと	「ケロイドを負った」
7. 元にもどらない、からだの障害を負わされたこと	「障害を負った」
8. 自分の健康にいつも不安をいだくようになったこと	「健康いつも不安」
9. 仕事が思うようにできなくなったこと	「仕事ができず」
10. 家事や身のまわりのことが思うようにできなくなったこと	「家事ができず」
11. 学業を思うようにうけられなかったこと	「学業が成らず」
12. 就職が思うようにいかなかったこと	「就職が成らず」
13. 結婚が思うようにならなかったこと	「結婚が成らず」
14. 家庭生活が思うようにならなかったこと	「家庭生活が成らず」

「つらかったこと」

【問19】

1. かつて、そう思ったことがあった	「生きる意欲の喪失」 「生の喪失」 「かつて思った」
2. かつても、いまも、そう思うことがある	「かつていまも」
3. かつては思わなかったが、いま、そう思っている	「いま思う」
4. そういうことは、考えたことがない	「考えたことない」
5. その他	「その他」
喪失あり（時期不明）	「喪失あり（時期不明）」

【問19補問】

イ. 家族を原爆でなくし、こころの支えをうしなったから	「家族をなくし」
ロ. 毎日がずっと、病気とのたたかいであったから	「病気との闘い」
ハ. 生涯、なおる見こみがないから	「治る見込みない」
ニ. 死をみつめて生きる苦しさにたえられなくなって	「死をみつめての生」
ホ. 被爆によって、自分の夢や人生の目標がたちきられたから	「人生の目標たたれ」

へ. 病気がちで、家族にたえずめいわくをかけるのが心苦しくて	「病気で家族に迷惑」	14. とくにない	「とくにない」
ト. 家庭内の不和・離婚などにより、こころの支えをうしなったから	「家庭内の不和離婚」	15. その他	「その他」
チ. あの日の体験に、こころをさいなまれて	「あの日の体験」		
リ. 被爆者だといわれたり、見られたりするのにたえられなくて	「被爆者と見られ」	【問22】	「原爆使用」
ヌ. その他	「その他」	1. たとえ戦争であっても、許せないことだ	「戦争でも許せない」
		2. 戦争だから、やむをえなかった	「戦争なら仕方ない」
		3. わからない	「わからない」
【問20】	「生きる支え」	その他、不詳、NA	「それ以外」
1. 安定した生活をきずくこと	「安定した生活」		
2. 家族に囲まれてくらすこと	「家族に囲まれて」		
3. 仕事に生きること	「仕事に生きる」	【問26】	「援護法」
4. 趣味に生きること	「趣味に生きる」	1. ぜひ制定すべきだ	「ぜひ制定すべきだ」
5. 宗教に生きること	「宗教に生きる」	2. できれば制定してほしい	「できれば制定して」
6. 多くのひととふれあうこと	「人とのふれあい」	3. その必要はない	「その必要はない」
7. 地域や社会のために役にたつこと	「地域社会に役立つ」	4. よくわからい	「よくわからない」
8. 原爆で死んだ人たちの霊をなぐさめること	「死者の慰霊」	その他、不詳、NA	「それ以外」
9. 原爆にまけないようにすること	「原爆に負けない」		
10. 被爆の証人として語りつぐこと	「被爆の証人」	【問27】	「つぐない」
11. 被爆者の仲間のために役にたつこと	「仲間に役立つ」	1. うしなった健康へのつぐないを	「健康のつぐない」
12. 援護法制定の日まで生きぬくこと	「法制定まで生きる」	2. 後遺症の不安のない医療を、国の手で	「国家が医療を」
13. 核兵器をこの地球からなくすために生きること	「核兵器廃絶」	3. 被爆者が安心してらせる援護法を	「安心してらせる」

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 4. 被爆者であるためにうしなった人生へのつぐないを | 「人生へのつぐない」 |
| 5. 援護法で、原爆死没者の死につぐないを | 「死につぐない」 |
| 6. 原爆死没者の遺族が安心してくらせる援護法を | 「遺族のくらし」 |
| 7. 被爆者の子供たちに不安のない人生を | 「子供のくらし」 |
| 8. 被爆者援護法の制定によって、国の責任を明確に | 「国の責任」 |
| 9. 援護法の制定で、ふたたび被爆者をつくらない証しを | 「被爆者つくらぬ証
「証し」 |
| 10. とくにもとめるものはない | 「とくにない」 |
| 11. その他 | 「その他」 |
| 死没者へのつぐない | 「死者へのつぐない」 |

《被爆40年》「原爆被害者調査」票（*単純集計結果つき）

*日本原水爆被害者団体協議会によって、1985年11月～86年3月に実施されたもの。

*数字は回答者数、（ ）内は回答者総数6744名に対する%。
なお、補問等、回答者の一部に該当する質問に対する回答結果についても、ここでは6744名を100として比率を算出した。

性別	男	3493 (51.8)
	女	3137 (46.5)
	NA	114 (1.7)
年齢(被爆時)	4歳以下	272 (4.0)
	5-9歳	386 (5.7)
	10-14歳	669 (9.9)
	15-19歳	1751 (26.0)
	20-24歳	1277 (18.9)
	25-29歳	942 (14.0)
	30-39歳	1099 (16.3)
	40歳以上	250 (3.7)
	NA	98 (1.5)
被爆地	広島	4482 (66.5)
	長崎	2253 (33.4)
	両地	4 (0.1)
	NA	5 (0.1)
被爆者手帳	あり	6691 (99.2)
	なし	37 (0.5)
	健診受診者証	7 (0.1)
	NA	9 (0.1)

〈I. 被爆当時の健康被害〉

はじめに、被爆された当時のことから、おたずねします。

【問1】 あなたはどのようなかたちで原爆に被爆しましたか。

1. 原爆投下のとき、直接被爆した	
- 0.5 km	45 (0.7)
- 1.0 km	371 (5.5)
- 1.5 km	851 (12.6)
- 2.0 km	1319 (19.6)
- 3.0 km	1109 (16.4)
3.0 km超	1279 (19.0)
NA	21 (0.3)
小計	4995 (74.1)
2. 原爆投下のあと、14日以内に入市した	1458 (21.6)
3. その他、死体処理や救護などにより放射線の影 響をうけた	210 (3.1)
4. 胎内で被爆した	10 (0.1)
5. 「特例健康診断実施地域」にいた	54 (0.8)
小計	1732 (25.7)
NA	17 (0.3)

（この問で1と答えた方は問2へ、1以外の方は問3にすすんでください）

【問2】 直接被爆された方におたずねします。あなたは、被爆したとき、けがややけどをされましたか。（1、2の両方に○をつけてもかまいません）

1. けがをした	2439 (36.2)
2. やけどをした	972 (14.4)
3. どれもなかった	2037 (30.2)
不詳	7 (0.1)
NA	86 (1.3)

(1および2と答えた方に、おたずねします。3の方は、問3へ)

【補問】 けがや、やけどはその後、どのようにになりましたか。

けがについて (2つ以上に○をつけてもかまいません)

イ. すっかり回復した	822 (12.2)
ロ. 傷あとはのこっている	1309 (19.4)
ハ. けががもとで、からだが不自由になった	295 (4.4)
ニ. 痛みや、かゆみがある	475 (7.0)
ホ. いまでも、治療をうけている	295 (4.4)
ヘ. その他	91 (1.3)
NA	23 (0.3)

やけどについて (2つ以上に○をつけてもかまいません)

イ. すっかり回復した	237 (3.5)
ロ. 傷あとはのこっている	520 (7.7)
ハ. ケロイドがはっきりとのこっている	383 (5.7)
ニ. 痛みや、かゆみがある	285 (4.2)
ホ. からだが不自由になった	121 (1.8)
ヘ. いまでも、ケロイドの治療をうけている	48 (0.7)
ト. その他	25 (0.4)
NA	26 (0.4)

【問3】 全員にお尋ねします (以下、同じ)。被爆してから昭和20年の末までに、原爆の放射能によると思われる (急性の) 症状がありましたか。

1. あった	3541 (52.5)
2. なかった	1492 (22.1)
3. わからない	1520 (22.5)
不詳	22 (0.3)
NA	169 (2.5)

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問4へ)

【補問】 どんな症状でしたか。あてはまるものを、すべてあげてください。

イ. はき気	1182 (17.5)
ロ. 下痢	1733 (25.7)
ハ. 食欲がでなかった	1550 (23.0)
ニ. 口がかわく	719 (10.7)
ホ. 口・のどのはれ・痛み	489 (7.3)
ヘ. 発熱	1186 (17.6)
ト. 脱毛	1177 (17.5)
チ. 血をはく	160 (2.4)
リ. 下血 (血尿・血便など)	496 (7.4)
ヌ. 鼻血	509 (7.5)
ル. 歯ぐきの出血	931 (13.8)
ヲ. ひふの斑点	657 (9.7)
ワ. めまい	1203 (17.8)
カ. 頭痛	1114 (16.5)
ヨ. ひどいだるさ	1570 (23.3)
タ. 生理異常	478 (7.1)
レ. どんな症状だったか、おぼえていない	25 (0.4)
ソ. その他	242 (3.6)
NA	61 (0.9)

〈Ⅱ. 被爆当時の体験と家族の被害1〉

【問4】 あの日や、その直後のことで、いまでも忘れられないこと、恐ろしく思っていること、心のこりなこと、などがありますか。あるとすれば、どんなことですか。例を参考に、なるべく、その状況や、あなたの思いがわかるように書いてください。

(アフターコード)

受苦	女・子供・年寄り	1335 (19.8)
	その他	3648 (54.1)

死に様	女・子供・年寄り	1361 (20.2)
	その他	3725 (55.2)
罪意識	自分だけ助かったので	30 (0.4)
	水をやったので	38 (0.6)
	水をやらなかったので	195 (2.9)
	助けられなかったので	456 (6.8)
	助けずに逃げたので	95 (1.4)
	その他の罪意識	131 (1.9)
	小計	945 (14.0)
助けなかった		738 (10.9)
助けた		270 (4.0)
無感動		186 (2.8)
地獄		1231 (18.3)
人間		403 (6.0)
忘れられない		1989 (29.5)
忘れてしまいたい		256 (3.8)
音・光・におい		86 (1.3)
その他		652 (9.7)

【問5】 被爆当時の、あなたのご家族のことについて、おたずねします。

〔1〕 あなたのほかに、被爆された方（入市や救護、胎内被爆を
ふくむ）が、ありますか。

1. いる	4491 (66.6)
2. いない	2190 (32.5)
NA	63 (0.9)

（2と答えた方に、おたずねします。1の方は、〔2〕へ）

【補問】あなたが一人で被爆したのは、どうしてですか。

イ. 召集や徴用、挺身隊、学徒動員などで、家 族と離れていたため	1645 (24.4)
-------------------------------------	---------------

ロ. 自分以外の家族が、疎開などで広島・長崎 の市外にいたため	106 (1.6)
ハ. 知人や友人などをさがしに、一人で市内に 入ったため	76 (1.1)
ニ. その他	218 (3.2)
NA	193 (2.9)

（〔1〕で、1と答えた方に、おたずねします）

〔2〕 被爆したご家族のなかで、被爆の当日から昭和20年末まで
の間に、亡くなられた方がありますか。

1. いる	1848 (27.4)
2. いない	2559 (37.9)
NA	84 (1.2)

（〔2〕で1と答えた方は、次のページの表【昭和20年内の原爆死没者の
状況】にご記入のうえ（表は省略）、そのあとの質問にもお答えくださ
い。昭和21年以降の原爆死没者については、あとの問13であらためて
おたずねします。

2の方は、Ⅲの問6へ、すすんでください）

◆昭和20年内の原爆死没者の状況表に記載された死亡者数

1人	1033 (15.3)
2人	402 (6.0)
3人	175 (2.6)
4人	82 (1.2)
5人	64 (0.9)
6人	31 (0.5)
7人	21 (0.3)
8人	10 (0.1)
9人	3 (0.0)
10人	6 (0.1)

1 1 人	2 (0.0)
1 2 人	1 (0.0)
1 3 人	0 ()
1 4 人	2 (0.0)
1 5 人以上	1 (0.0)
NA	15 (0.2)

3. わからない	980 (14.5)
不詳	21 (0.3)
NA	138 (2.0)

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、〔3〕へ)

【補問】それは、どんな症状ですか。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

イ. かぜをひきやすい	2648 (39.3)
ロ. つかれやすい	3423 (50.8)
ハ. むりがきかない	2347 (34.8)
ニ. からだがだるい	2183 (32.4)
ヘ. 根気がつづかない	1617 (24.0)
ホ. その他	145 (2.2)
NA	24 (0.4)

〈Ⅲ. その後の健康と生活への影響〉

ここでは、被爆したあとに、あなたがうけた、健康や、暮らしへの影響について、おたずねします。

【問6】 まず、あなたの、この40年間の健康状態について、おたずねします。

〔1〕 あなたは、被爆してから、入院や通院をしましたか。つぎのなかから、あなたにあてはまるものをえらんでください。
(2つ以上に○をつけてもかまいません)

1. 長期(1ヶ月以上)の入院をした	2659 (39.4)
2. しばしば(くりかえし)、入院した	1182 (17.5)
3. しばしば、通院した	3652 (54.2)
4. ときおり、通院した	1538 (22.8)
5. どれもしなかった	541 (8.0)
6. その他	279 (4.1)
NA	103 (1.5)

〔2〕 あなたは、被爆してから、よく、かぜを引いたり、つかれやすくなったりしたこと(ぞくに「ぶらぶら病」といわれているもの)がありましたか。

1. あった	4159 (61.7)
2. なかった	1446 (21.4)

〔3〕 あなたは、被爆したために、あなたの健康状態が変わった(悪くなった)と思いますか。

1. すっかり変わったと思う	1441 (21.4)
2. すこし変わったと思う	1922 (28.5)
3. 被爆のせいで、とくに変わったとは思わない	766 (11.4)
4. どちらともいえない	1305 (19.4)
5. わからない	938 (13.9)
6. その他	42 (0.6)
不詳	116 (1.7)
NA	214 (3.2)

〔4〕 あなたは、これまで、発病したり、被爆者で死んだひとたちのことを見たり聞いたりしたとき、死の恐怖を感じたことがありますか。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. ある | 5329 (79.0) |
| 2. ない | 886 (13.1) |
| 3. わからない | 529 (7.8) |

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問7へ)

【補問】 それを感じたのは、どんなときですか。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| イ. 病気がしたり、からだのぐあいが悪くなったとき | 3888 (57.7) |
| ロ. 身内や、まわりの被爆者の死(死にかた)を見聞きしたとき | 2266 (33.6) |
| ハ. 被爆当時の、ひとびとの死のありさまを思いだしたとき | 2811 (41.7) |
| ニ. 被爆後に生まれた、こどものからだのことが気になったとき | 1569 (23.3) |
| ホ. 新聞やテレビなどで、原爆や核兵器のことを見聞きしたとき | 2086 (30.9) |
| ヘ. その他 | 84 (1.2) |

つぎの問7から問12では、原爆が、あなたの被爆後のくらしや、生い立ちに与えた影響について、おたずねしていきます。

【問7】 あなたは、被爆したあと、生活が苦しくなったことがありますか。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. ある | 3165 (46.9) |
| 2. ない | 2189 (32.5) |
| 3. わからない | 1253 (18.6) |
| 不詳 | 6 (0.1) |
| NA | 131 (1.9) |

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問8へ)

【補問A】 生活が苦しくなったのは、被爆したためですか。

- | | |
|--------------|---------------|
| イ. はい | 2608 (38.7) |
| ロ. いいえ | 172 (2.6) |
| ハ. どちらともいえない | 334 (5.0) |
| 不詳 | 2 (0.0) |
| NA | 49 (0.7) |

(イと答えた方に、おたずねします。ロ、ハの方は、つぎの問8へ)

【補問B】 その原因は、つぎのどれにあたりますか。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| イ. 原爆で、家族をうしなったため | 782 (11.6) |
| ロ. 原爆で、家やたくわえをうしなったため | 1394 (20.7) |
| ハ. 原爆で、職場をうしなったため | 615 (9.1) |
| ニ. あなたが病気で、収入が減ったり、なくなったりしたため | 792 (11.7) |
| ホ. 被爆した家族が病気(病死)して、収入が減ったり、なくなったりしたため | 475 (7.0) |
| ヘ. あなたまたは被爆した家族が病気し、その医療費がかさんだため | 496 (7.4) |
| ト. 被爆者であるがゆえに、安定した仕事につけなかったため | 458 (6.8) |
| チ. 被爆が原因になって、家族が離別したため | 186 (2.8) |
| リ. その他 | 114 (1.7) |
| NA | 32 (0.5) |

【問8】 あなたは、被爆したために、学校や進学のこと(遊びをふくむ)で、なやんだことがありますか。

- | | |
|-------|--------------|
| 1. ある | 895 (13.3) |
|-------|--------------|

2. ない	4490 (66.6)
3. わからない	602 (8.9)
不詳	36 (0.5)
NA	721 (10.7)

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問9へ)

【補問】 *こんなことじやか。(2つ以上に○を付けてもかまいません。)*

イ. 被爆による、からだの障害や病気のため、進学・進級がおくれたり、あきらめたりした	281 (4.2)
ロ. 被爆によって、家族が死んだり病気したために、進学・進級がおくれたり、あきらめたりした	307 (4.6)
ハ. ほかの子と同じように遊んだり、運動したりできなかった	203 (3.0)
ニ. 資格や学歴をえようとしても、からだがつづかなかった	209 (3.1)
ホ. その他	111 (1.6)
NA	80 (1.2)

【問9】 あなたは、被爆したために、就職や仕事のことで、なやんだことがありますか。

1. ある	1843 (27.3)
2. ない	4116 (61.0)
3. わからない	472 (7.0)
不詳	9 (0.1)
NA	304 (4.5)

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問10へ)

【補問】 *こんなことじやか。(2つ以上に○を付けてもかまいません。)*

イ. 病気や障害のために、のぞんだ仕事につけなかった	586 (8.7)
ロ. 就職のとき、採用してもらえなかったりなど、差別をうけた	194 (2.9)
ハ. 被爆したことをかくして就職した	451 (6.7)
ニ. からだが悪く、仕事につけなかった	378 (5.6)
ホ. 就職はしたが、人なみに仕事ができなかった	490 (7.3)
ヘ. 職を転々としたり、安定した職につけなかった	370 (5.5)
ト. むりして働いたため、からだをいっそう悪くした	678 (10.1)
チ. まったく働けなくなり、仕事をやめた	200 (3.0)
リ. その他	118 (1.7)
NA	77 (1.1)

【問10】 あなたは、被爆したために、結婚のことで、なやんだことがありますか。

1. ある	1785 (26.5)
2. ない	4171 (61.8)
3. わからない	327 (4.8)
不詳	73 (1.1)
NA	388 (5.8)

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問11へ)

【補問】 *こんなことじやか。(2つ以上に○を付けてもかまいません。)*

イ. 被爆者だということで、結婚に反対された	372 (5.5)
ロ. 原爆で家族が死んだり病気したために、婚期がおくれたり、のがしたりした	135 (2.0)
ハ. 病気や健康が不安なため、結婚することになやんだ	721 (10.7)

ニ. 子供をうむことが不安で、結婚することにな やんだ	792 (11.7)
ホ. 被爆者であるために、結婚にふみきれず、あ きらめた	87 (1.3)
ヘ. 被爆したことをかくして結婚した	495 (7.3)
ト. その他	111 (1.6)
NA	60 (0.9)

【問 1 1】 あなたは、被爆したために、家庭生活のことで、なやんだこ
とがありますか。

1. ある	2265 (33.6)
2. ない	3603 (53.4)
3. わからない	594 (8.8)
不詳	10 (0.1)
NA	272 (4.0)

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問12へ)

【補問】 こんなことじやか。(2つ以上に○をつけてもかまいません。)

イ. 病弱なため、家族に生計の苦勞をかけた	1282 (19.0)
ロ. 病弱なため、家事や身の回りのことができな くなった	457 (6.8)
ハ. こどもたちに、親らしいことをしてやれな かった	725 (10.8)
ニ. 病弱や不安がもとで、家庭に不和が起きた (離別をふくむ)	262 (3.9)
ホ. 被爆者であることをかくしていたため、家庭 に不和がおきた (離別をふくむ)	139 (2.1)
ヘ. その他	320 (4.7)
NA	191 (2.8)

【問 1 2】 あなたは、被爆したために、子育てのことで、なやんだこと
がありますか。

1. ある	2896 (42.9)
2. ない	3039 (45.1)
3. わからない	446 (6.6)
不詳	5 (0.1)
NA	358 (5.3)

(1と答えた方に、おたずねします。2、3の方は、問13へ)

【補問】 こんなことじやか。(2つ以上に○をつけてもかまいません。)

イ. 早産や流産、不正常分娩、不妊、生理・精子 の異常などがあつた	600 (8.9)
ロ. 子供をうむこと、うまれてくる子供のことが 不安だつた	1981 (29.4)
ハ. 不安がつよく、子供をうむことができなかつた	85 (1.3)
ニ. 戦後にうまれた(胎内被爆をのぞく)子供 が、病気がちだつた	461 (6.8)
ホ. 戦後にうまれた(胎内被爆をのぞく)子供 に、障害があつた	199 (3.0)
ヘ. 戦後にうまれた(胎内被爆をのぞく)子供 が、死亡した	196 (2.9)
ト. 被爆者の子(被爆二世)だということが、子 供の結婚にあたって問題になつた	366 (5.4)
チ. その他	182 (2.7)
NA	93 (1.4)

〈Ⅳ. 家族の被害 2 … 昭和 21 年以降の死没者〉

このⅣ＝問 13 は、問 5 の〔1〕で、1 (被爆家族あり) と答えた方だけ、ご記入ください。それ以外の方 (単身で被爆) は、Ⅴの問 14 へすすんでください。

【問 13】 被爆当時のご家族のうち、原爆に被爆した方で、昭和 21 年以降に、亡くなられた方がありますか。

1. いる	2621 (38.9)
2. いない	1599 (23.7)
NA	271 (4.0)

◆昭和 21 年以降の原爆死没者の状況に記載された死亡者数

1 人	1547 (22.9)
2 人	726 (10.8)
3 人	214 (3.2)
4 人	55 (0.8)
5 人	8 (0.1)
6 人	2 (0.0)
7 人	0 ()
8 人	1 (0.0)
9 人	0 ()
10 人	0 ()
11 人	0 ()
12 人	0 ()
13 人	1 (0.0)
14 人	0 ()
15 人以上	0 ()
NA	67 (1.0)

〈Ⅴ. 現在の健康と生活の状態〉

つづいて、あなたの、現在の健康状態と、暮らしについて、おたずねします。

【問 14】 まず、最近の、あなたの健康状態について、おたずねします。

〔1〕 このところ、あなたのからだのぐあいは、いかがですか。

1. 元気	265 (3.9)
2. まあまあ元気	3319 (49.2)
3. 病気がち	3112 (46.1)
不詳	8 (0.1)
NA	40 (0.6)

〔2〕 現在、入院または通院などを行っていますか。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

1. 入院している	198 (2.9)
2. 通院している	5179 (76.8)
3. ねたきりになっている	56 (0.8)
4. 仕事をやすんでいる	630 (9.3)
5. どれもしていない	979 (14.5)
6. その他	333 (4.9)
NA	211 (3.1)

〔3〕 このごろ、あなたなりに、なにか健康法をこころがけていますか。どんなことをしていますか。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

1. ハリや灸など漢方による治療	1658 (24.6)
2. 自然食などの食事療法	2480 (36.8)
3. ジョギングやヨガなどによる健康維持	771 (11.4)
4. ビタミン剤など	1850 (27.4)
5. とくにしていない	1471 (21.8)

6. その他	784 (11.6)
NA	430 (6.4)

〔4〕 最近1年のあいだに、あなたは、なにか病気をしましたか。
その前からかかっている、いまもつづいている病気もふくめ、あてはまるものをすべてあげてください。（病気をしなかった方は、17番に○をつけてください）

1. 貧血・白血病・紫斑がでるなど、血液の病気になった	1251 (18.5)
2. 肝臓の病気になった	1019 (15.1)
3. 糖尿病など、内分泌腺の病気になった	853 (12.6)
4. 脳出血など、脳血管の病気になった	266 (3.9)
5. 高血圧や狭心症など、心臓の病気になった	2605 (38.6)
6. 慢性腎炎やネフローゼなど、腎臓の病気になった	383 (5.7)
7. 肺気腫など、肺の病気になった	294 (4.4)
8. 胃かいよう・十二指腸かいよう、などの病気になった	1065 (15.8)
9. 胃ガン・肺ガン・甲状腺ガンなど、ガンになった	160 (2.4)
10. 結核になった	174 (2.6)
11. 白内障など、目の病気になった	1443 (21.4)
12. 変形性脊椎症・関節炎・リウマチなど、手足や腰の病気になった	2961 (43.9)
13. しっしんなど、皮膚病になった	1352 (20.0)
14. 神経症など、精神・神経科の病気になった	411 (6.1)
15. かぜばかり引くなど、体調はよくなかった	2200 (32.6)
16. 病気をしたが、病名がよくわからない	461 (6.8)
17. 病気をしなかった	359 (5.3)
18. その他	496 (7.4)
NA	129 (1.9)

〔5〕 あなたの現在の体調は、原爆と関係があると思いますか。

1. 関係あると思う	3001 (44.5)
2. 関係ないと思う	366 (5.4)
3. 結びつけて考えたくない	1048 (15.5)
4. わからない	1947 (28.9)
5. その他	27 (0.4)
不詳	248 (3.7)
NA	107 (1.6)

【問15】 あなたの、現在の暮らしについて、おたずねします。

〔1〕 あなたの暮らしは、どのような収入でまかなわれていますか。つぎの中から、あてはまるものをすべて、あげてください。

1. あなたの仕事(自営もふくむ)による収入	2597 (38.5)
2. 配偶者の仕事による収入	1588 (23.5)
3. 子供の収入・援助	867 (12.9)
4. あなたの年金(厚生年金、共済年金や国民年金)	2609 (38.7)
5. 配偶者の年金	1104 (16.4)
6. 老齢福祉年金など	308 (4.6)
7. 生活保護	102 (1.5)
8. 戦傷病者・遺族等援護法などによる給付(遺族・障害年金など)	249 (3.7)
9. 被爆者特別措置法による手当(健康管理手当など)	3554 (52.7)
10. 家賃・地代などの財産収入	283 (4.2)
11. 貯蓄	284 (4.2)
12. 借金	83 (1.2)
13. 養護ホームなど、施設や団体の援助	30 (0.4)
14. その他	80 (1.2)
NA	23 (0.3)

(1をえらんだ方だけに、おたずねします。他の方は、つぎの〔2〕へ)

【補問】あなたは老後、働けなくなって収入がえられなくなったとき、どのように暮らしを立てていくつもりですか。(2以上に○をつけてもかまいません)

イ. 年金でくらしていく	2079 (30.8)
ロ. 貯蓄でくらしていく	411 (6.1)
ハ. こどもに養ってもらう	756 (11.2)
ニ. 配偶者に養ってもらう	253 (3.8)
ホ. どれもない	139 (2.1)
ヘ. その他	116 (1.7)
NA	53 (0.8)

〔2〕あなたはいま、どなたかと同居していますか。

1. はい	5892 (87.4)
2. いいえ	644 (9.5)
不詳	2 (0.0)
NA	206 (3.1)

(1と答えた方に、おたずねします。2の方は、問16へ)

【補問】それは、どなたですか。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

イ. 配偶者	4908 (72.8)
ロ. 子供	3456 (51.2)
ハ. 親	578 (8.6)
ニ. 孫	855 (12.7)
ホ. その他	106 (1.6)
NA	55 (0.8)

【問16】あなたは、現在、被爆者手当をうけていますか。うけている手当の名前をすべてあげてください。(どれもうけていない方は、8番に○を)

1. 健康管理手当	4881 (72.4)
2. 保健手当	388 (5.8)
3. 医療特別手当	141 (2.1)
4. 特別手当	92 (1.4)
5. 介護手当	15 (0.2)
6. 家族介護手当	22 (0.3)
7. 原爆小頭症手当	0 ()
8. どれもうけていない	1141 (16.9)
NA	98 (1.5)

(8と答えた方だけに、おたずねします)

【補問】なぜ、うけていないのですか。(2つ以上に○してもかまいません)

イ. 申請が、みとめられなかった	113 (1.7)
ロ. 手続きがめんどうだから	109 (1.6)
ハ. 病気があてはまらないから	329 (4.9)
ニ. 所得制限にかかったから	299 (4.4)
ホ. 病院が診断書をかかないから	29 (0.4)
ヘ. うけたくないから	34 (0.5)
ト. 必要ないから	127 (1.9)
チ. 手帳をもっていないから	27 (0.4)
リ. 手当のことを知らなかった	104 (1.5)
ヌ. その他	96 (1.4)
NA	58 (0.9)

(どなたの所得が、制限をこえたのですか)

a. 本人の	171 (2.5)
b. 配偶者の	117 (1.7)
c. それ以外の	12 (0.2)
NA	3 (0.0)

【問17】 あなたは、いま、被爆者であるために不安なことがありますか。

1. 大いに不安がある	2297 (34.1)
2. すこし不安がある	2820 (41.8)
3. とくに不安はない	1256 (18.6)
4. わからない	339 (5.0)
不安がある (程度不明)	32 (0.5)

(1、2のどれかをえらんだ方に、おたずねします。3、4の方は、問18へ)

【補問】 どんなことが不安なのですか。(2つ以上えらんでもかまいません)

イ. いつ発病するかわからないので、不安だ	2825 (41.9)
ロ. ぐあいが悪くなると、被爆のせいでは……、と気になる	3331 (49.4)
ハ. 一生なおらないのでは、と不安になる	1375 (20.4)
ニ. もし働けなくなったら……、と不安になる	1019 (15.1)
ホ. 老後の生活が不安だ	1831 (27.2)
ヘ. 自分が死んだら……と、のこる家族のことが心配だ	813 (12.1)
ト. 被爆した肉親の、健康や将来のことが不安だ	569 (8.4)
チ. 戦後うまれの (胎内被爆をのぞく) 子供や孫の健康が不安だ	1567 (23.2)
リ. 戦後うまれの (胎内被爆をのぞく) 子供や孫の将来のことが不安だ	762 (11.3)
ヌ. その他	70 (1.0)

〈VI. 被爆者としての苦しみと生き方〉

これまで、被爆の当時、その後、現在というように、被爆したために、あなたの身におこったことを、いろいろお聞きしてきました。この第VI部では、あなたの40年間の歩みをふりかえった、まとめとして、おたずねすることにします。一部、重なりあうところがあるかもしれませんが、大切なところですので、お許してください。

【問18】 あなたにとって、被爆したために、つらかったことはどんなことですか。つらかったことがあれば、つぎのなかから、あてはまるものをすべてあげてください。(とくになければ、18番に○をつけてください)

1. 家族を失ったこと	1701 (25.2)
2. 家やたくわえなど、生活の基盤をうしなったこと	1523 (22.6)
3. 家族がちりぢりになってしまったこと	287 (4.3)
4. 支えになる人や相談する人がなくなったこと	864 (12.8)
5. 病気がちになったこと	2625 (38.9)
6. ケロイドを負わされたこと	368 (5.5)
7. 元にもどらない、からだの障害を負わされたこと	993 (14.7)
8. 自分の健康にいつも不安をいだくようになったこと	3862 (57.3)
9. 仕事が思うようにできなくなったこと	1232 (18.3)
10. 家事や身のまわりのことが思うようにできなくなったこと	550 (8.2)
11. 学業を思うようにうけられなかったこと	453 (6.7)
12. 就職が思うようにいかなかったこと	433 (6.4)
13. 結婚が思うようにならなかったこと	352 (5.2)
14. 家庭生活が思うようにならなかったこと	446 (6.6)
15. 子供をうむことや、うまれた子供の健康・将来のことに不安をいだいてきたこと	1960 (29.1)
16. 被爆したことをかくして生きてきたこと	604 (9.0)

17. あの日のできごとが、深く、こころの傷あとに 2038 (30.2)
 なって残ったこと
18. 被爆したために、とくにつらいことはなかった 1066 (15.8)
19. その他 136 (2.0)

【問19】 あなたは、被爆したために、「こんな苦しみをうけるくらいなら、死んだ方がましだ」とか「いっそあの時、死んでいた方がよかった」とか、思ったことがありますか。

1. かつて、そう思ったことがあった 1163 (17.2)
2. かつて、いまでも、そう思うことがある 319 (4.7)
3. かつては思わなかったが、いま、そう思っている 209 (3.1)
4. そういうことは、考えたことがない 4699 (69.7)
5. その他 194 (2.9)
 喪失あり (時期不明) 160 (2.4)

(1、2または3に○をつけた方は、つぎの2つの補問にお答えください。
 4、5の方は、問20へ)

【補問A】 そう思った(思う)のは、なぜですか。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

- イ. 家族を原爆でなくし、こころの支えをうしなつたから 588 (8.7)
- ロ. 毎日がずっと、病気とのたたかいであったから 734 (10.9)
- ハ. 生涯、なおる見こみがないから 543 (8.1)
- ニ. 死をみつめて生きる苦しさにたえられなくなつて 230 (3.4)
- ホ. 被爆によって、自分の夢や人生の目標がたちきられたから 672 (10.0)
- ヘ. 病気がちで、家族にたえずめいわくをかけるのが心苦しくて 616 (9.1)

- ト. 家庭内の不和・離婚などにより、こころの支えをうしなつたから 126 (1.9)
- チ. あの日の体験に、こころをさいなまれて 443 (6.6)
- リ. 被爆者だといわれたり、見られたりするのにたえられなくて 188 (2.8)
- ヌ. その他 103 (1.5)

【補問B】 そう思ったとき、あなたは、どんなことを支えに、その苦しみをのりこえてきましたか。あなたの支えになったと思うことを、下のらんに書いてください。

(自由記述につき回答省略)

【問20】 いま、あなたの生きる支えや、はりあいになっているのは、どんなことですか。つぎの中から、あなたにあてはまるものを、あげてください。(とくになければ、14番に○をつけてください。2つ以上に○をつけてもかまいません)

1. 安定した生活をきずくこと 2336 (34.6)
2. 家族に囲まれてくらすこと 2681 (39.8)
3. 仕事に生きること 1146 (17.0)
4. 趣味に生きること 1816 (26.9)
5. 宗教に生きること 1033 (15.3)
6. 多くのひととふれあうこと 1848 (27.4)
7. 地域や社会のために役にたつこと 1501 (22.3)
8. 原爆で死んだ人たちの霊をなぐさめること 1635 (24.2)
9. 原爆にまけないようにすること 1114 (16.5)
10. 被爆の証人として語りつぐこと 1618 (24.0)
11. 被爆者の仲間のために役にたつこと 1457 (21.6)
12. 援護法制定の日まで生きぬくこと 2246 (33.3)
13. 核兵器をこの地球からなくすために生きること 2368 (35.1)
14. とくにない 616 (9.1)
15. その他 127 (1.9)

【問 2 1】 あなたは、あなたの被爆体験を、ひとのまえで話したり、手記にかいたりしたことがありますか。

- | | |
|-------|---------------|
| 1. ある | 4259 (63.2) |
| 2. ない | 2428 (36.0) |
| NA | 57 (0.9) |

(1の方は、補問Aに、2の方は補問Bにお答えください)

【補問A】 どんなかたちで発表しましたか。(いくつ〇してもかまいません)

- | | |
|---------------------|---------------|
| イ. 被爆者同士のあつまりで | 1957 (29.0) |
| ロ. 調査や取材による聞き取りで | 1392 (20.6) |
| ハ. 体験記や手記 | 1319 (19.6) |
| ニ. 学生や子供たちなど、若い人の前で | 1761 (26.1) |
| ホ. 集会などでの発言や証言 | 1293 (19.2) |
| ヘ. その他 | 440 (6.5) |
| NA | 121 (1.8) |

【補問B】 どうして、話せないのですか。つぎの中から、あなたの気持ちに近いものをあげてください。(2つ以上に〇をつけてもかまいません)

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| イ. 被爆者であることを知られたくないから | 326 (4.8) |
| ロ. この苦しみは、被爆した者でないとわからないと思うから | 893 (13.2) |
| ハ. 家族にめいわくをかけたくないから | 181 (2.7) |
| ニ. 一日もはやく、忘れてしまいたいから | 365 (5.4) |
| ホ. 話そう、書こうとしても、まとまらないから | 515 (7.6) |
| ヘ. 話すこと、書くことがつらいから | 377 (5.6) |
| ト. これまでそんな機会がなかったから | 577 (8.6) |

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| チ. 話したり、書いたりするほどの体験をしていないから | 535 (7.9) |
| リ. その他 | 139 (2.1) |
| NA | 86 (1.3) |

〈Ⅶ. 核兵器の廃絶と援護法の制定〉

最後に、原爆投下のことや、核戦争の危機のこと、また、原爆被害にたいする、つぐないの問題について、あなたのお考え、お気持ちをおうかがいします。

【問 2 2】 あなたは、原爆が使用されたことについて、どう思いますか。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. たとえ戦争であっても、許せないことだ | 5961 (88.4) |
| 2. 戦争だから、やむをえなかった | 518 (7.7) |
| 3. わからない | 155 (2.3) |
| 4. その他 | 26 (0.4) |
| 不詳 | 47 (0.7) |
| NA | 37 (0.6) |

【問 2 3】 あなたは、世界のどこかで、核兵器がふたたび使われる不安を感じていますか。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 感じている | 6209 (92.1) |
| 2. 感じていない | 196 (2.9) |
| 3. 考えたことがない | 187 (2.8) |
| 4. その他 | 85 (1.3) |
| 不詳 | 4 (0.1) |
| NA | 63 (0.9) |

【問 2 4】 あなたは、わたしたち被爆者が体験を話すことは、核戦争をふせぎ、世界平和の世論をつくる力になると思いますか。

	不詳	262 (3.9)
	NA	129 (1.9)

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 思う | 5794 (85.9) |
| 2. 思わない | 170 (2.5) |
| 3. わからない | 669 (9.9) |
| 4. その他 | 40 (0.6) |
| 不詳 | 19 (0.3) |
| NA | 52 (0.8) |

【問 2 5】 いまからおよそ5年ほどまえ、厚生大臣がつくった「原爆被爆者対策基本問題懇談会」（基本懇と略す）は、原爆がもたらした被害についても、「戦争による犠牲はすべての国民がひとしく受忍（がまんすること）しなければならぬ」という意見を発表しました。 そのことについて、おたずねします。

〔1〕 あなたは、このような意見書のあることを知っていますか。

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1. 意見書の内容について知っている | 1728 (25.6) |
| 2. 出たことは知っているが、その内容までは知らなかった | 2749 (40.8) |
| 3. まったく知らなかった | 2184 (32.4) |
| 不詳 | 12 (0.2) |
| NA | 71 (1.1) |

〔2〕 あなたは、原爆による「犠牲」（被害・苦しみ）を「受忍（がまん）」しろという、基本懇の意見について、どう思いますか。

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1. 原爆の犠牲は、とうてい「受忍」（がまん）できるものではない | 5125 (76.0) |
| 2. 国の考えだから、しかたがない | 215 (3.2) |
| 3. 基本懇のいっていることが、よくわからない | 890 (13.2) |
| 4. その他 | 123 (1.8) |

【問 2 6】 あなたは、原爆で亡くなった人と生き残った被爆者の苦しみを つぐなうために、国が援護法を制定すべきだと思いますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. ぜひ制定すべきだ | 5387 (79.9) |
| 2. できれば制定してほしい | 1086 (16.1) |
| 3. その必要はない | 9 (0.1) |
| 4. よくわからない | 160 (2.4) |
| 5. その他 | 20 (0.3) |
| 不詳 | 54 (0.8) |
| NA | 28 (0.4) |

【問 2 7】 国に、原爆被害者援護法を制定させるとして、あなたは援護法に、どのようなことをもとめていますか。つぎの中から、あなたの考えに近いものをあげてください。（2つ以上に○をつけてもかまいません。とくにないときは、10番に○をつけてください）

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. うしなった健康へのつぐないを | 1902 (28.2) |
| 2. 後遺症の不安のない医療を、国の手で | 3252 (48.2) |
| 3. 被爆者が安心してらせる援護法を | 5040 (74.7) |
| 4. 被爆者であるためにうしなった人生へのつぐないを | 1295 (19.2) |
| 5. 援護法で、原爆死没者の死につぐないを | 2802 (41.5) |
| 6. 原爆死没者の遺族が安心してらせる援護法を | 2684 (39.8) |
| 7. 被爆者の子供たちに不安のない人生を | 2584 (38.3) |
| 8. 被爆者援護法の制定によって、国の責任を明確に | 2733 (40.5) |
| 9. 援護法の制定で、ふたたび被爆者をつくらぬ証しを | 3665 (54.3) |
| 10. とくにもとめるものはない | 104 (1.5) |

1 1. その他	33 (0.5)
死没者のつぐない	545 (8.1)

(うえの間で、5と6をえらんだ方に、おたずねします)

【補問】 あなたが国に、原爆死没者へのつぐないをもとめるのは、どのようなお気持ちからですか。つぎの中に、あなたのお気持ちに近いものがあれば、それをあげてください。(2つ以上に○をつけてもかまいません)

イ. 原爆の最大の犠牲者である死没者の霊をなぐさめるために	2406 (35.7)
ロ. あの悲惨な死を、犬死ににさせないために	2550 (37.8)
ハ. あの死を、平和のいしずえとし、ふたたびくり返させないために	3410 (50.6)
ニ. 死者と苦楽をともにした遺族が、今後を生きていくために	1805 (26.8)
ホ. その他	19 (0.3)
NA	46 (0.7)